

青少年委員だより

地域との直接的なつながりを絶やさない 第169号



第48回江戸川区民まつり

青少年委員会の日頃の活動に敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

私はこの4月に教育長を拝命しました。それ以前は二之江中学校、葛西小学校・葛西中学校において12年間校長を務めてまいりました。その間、青少年委員の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

さて今日、スマートフォンが年齢を問わず広く普及しております。その適切な使用方法の啓発を学校でも行っていますが、SNSのトラブルはしばしば発生し、子どもたち同士の人間関係に亀裂が生じることもあります。また、いわゆる「闇バイト」等の犯罪に子どもたちが巻き込まれることは何としても防がなければなりません。

そのような危ういともいえる今日の世相において改めて大切にしたいことは、画面を通しての関係性ではなく、子どもたちと地域との直接的なつながりを絶やさないことだと思います。様々な活動に子どもたちが参加することで、心身ともに健全に子どもたちは成長していきます。青少年委員の皆様による地域での様々な活動に改めて期待を寄せたいと思います。



子どもたちの健全な成長と地域の取り組み
江戸川区教育委員会教育長 内野 雅晶

青少年育成地区委員会 合同研修会



文責

葛西南地区部会
山本 祐子

令和7年7月17日(木)に実施された青少年育成地区委員会の合同研修会に参加しました。今回は「これからの地区委員会の活動を充実させるためにできることを考える」というテーマのもと、他地区委員会の活動を知り、各地域での取り組みに役立てることを目的とした研修でした。まずはじめに、東京都推進モデル事例として「下小岩たんけん隊」の活動報告がありました。この活動は、青少年委員会内の研究グループ「子どもの文化体験研究」によって誕生し、その後下小岩地区委員会の行事として毎年開催されています。今回、この活動が東京都の推進モデル事業として高く評価されました。また、分科会では各地区委員会の行事や研修広報のあり方、運営について活発な情報交換が行われ、有意義な研修会となりました。

第48回江戸川区民まつり 「ポイントゲッター」大盛況！



文責

葛西南地区部会
石川 祐成

令和7年10月12日(日)、篠崎公園一帯にて開催された「江戸川区民まつり」において、青少年委員会は「ポイントゲッター」の運営を担当しました。

「ポイントゲッター」は、会場内に設置された8か所のポイントを巡りながらスタンプを集めるスタンプラリー形式のイベントです。各ポイントでは江戸川区にちなんだクイズが出題され、正解するとスタンプを獲得できます。すべてのポイントでスタンプを集めると、景品をゲットでき、子どもから大人まで幅広い世代の方々が参加しました。

当日は天候にも恵まれ、用意した3,000枚のスタンプ用紙はほとんどが来場者の手に渡りました。広い会場を江戸川区内の情報を得ながら笑顔で巡り、ゴールで景品を受け取った参加者の皆様からは「楽しかった!」との声が多く寄せられ、区民まつりの賑わいを象徴する企画となりました。

あとがき

青少年委員会は、花火大会のサポーターや区民まつりでのポイントゲッターの運営など、江戸川区の大きなイベントで皆様楽しんでいただけるよう、活動しています。

また、それだけではありません。各地域においても、この「青少年委員だより」に掲載しているように、さまざまなイベントで活動しています。

今後も、この「青少年委員だより」を通じて活動内容をご案内いたします。楽しく、読みやすく、わかりやすい「青少年委員だより」を目指していきますので、ぜひご期待ください。

広報部 同

江戸川区青少年委員 ホームページ



こちらの二次元コードを読み込んでいただくか、「江戸川区青少年委員」で検索してください。

江戸川区青少年委員

検索

青少年委員だより

発行 江戸川区青少年委員会
編集 広報部
連絡 江戸川区文化共育部
健全育成課育成活動支援係
03(5662)0357

第43回江戸川区民ラジオ体操大会



夏の清々しい早朝、令和7年7月26日(土)に瑞江第三中学校のグラウンドで第43回江戸川区民ラジオ体操大会が開催されました。この大会は、区民の健康増進、青少年の健全育成、ラジオ体操の普及を目的に、毎年実施されています。東部地区での開催は10年ぶり、会場には1,500名の幅広い世代の参加者が集まりました。

大会実行委員長を務めたのは篠崎地区連合町会の松下会長で、斉藤区長からも挨拶がありました。会場に集まった多世代の参加者は、ラジオから流れるリズムミカルな号令に合わせて、元気いっぱい体操を楽しみました。体操後には、参加者全員にスタンプシートや記念品が配られ、参加者の皆様にとって思い出に残るひとときとなりました。

文責

東部地区部会

南江 広一郎

第50回江戸川区花火大会



令和7年8月2日(土)、江戸川河川敷にて江戸川区花火大会が行われました。今年は第50回の記念大会で、約3万人の観客が訪れ、会場は大いに賑わいました。台風9号の影響が懸念されましたが、幸いにも天候は回復し、音楽とともに約1万4千発の花火が江戸川の夜空を彩り、思い出深い一夜となりました。

青少年委員は例年通り会場周辺にて歩行者の誘導に従事しました。日中から大会終了後まで長時間にわたる活動となりましたが、帰路につく観客の方々から「ありがとう」「おつかれさま」と温かい言葉をかけていただき、トラブルもなく安全な大会運営を支えることができたことを心より嬉しく思います。

文責

葛西南地区部会

三木 佳代

7月定例会



令和7年7月18日(金)の定例会では、7つのグループに分かれて「私の趣味・特技・職業」をテーマにしたグループ討議を行いました。委員同士が互いに理解を深め、その知識や技術を活用に生かすことを目的としました。各グループでは会話が盛り上がり、時間が足りないという意見が多く聞かれました。特に、他の地区部会の委員との情報交換を通じて、これまで知らなかった人柄を知ることができ、委員同士の理解をさらに深めることができた有意義な定例会となりました。

文責

中央地区部会

和田 洋子

9月定例会



令和7年9月18日(木)の定例会は、4月に開館した江戸川区文化スポーツプラザにて、スポーツ推進委員の方々をお招きし、青少年委員の活動を紹介するとともに、実際に体験していただくことで交流を深めることを目的としました。4つの研究グループの協力のもと、スポーツ推進委員の方々がレクリエーションや工作を和気あいあいと、かつ真剣に楽しんでいる姿は、普段見る子どもたちと同じでした。今後も定期的なお互いの交流を深めることができればと思います。

文責

葛西南地区部会

橋本 隆司

スポーツ推進委員からのコメント

青少年委員の活動である健全育成のための子どもたちに有意義な体験をさせる取り組みの部を私たちスポーツ推進委員が体験させていただきまし

た。

体験内容は、工作として「お花の万華鏡」で細かい作業を経て出来上がった作品に私たちは感動いたしました。遊び体験として、12個のお皿におはじきを3個ずつ入れて順番に1個ずつ右方向に移動させて無くなった方が勝ちという「マンカラ」を体験しました。レクリエーションは「すき焼きゲーム」でジャンケンをしてすき焼きの具材を揃える速さを競う遊びです。

前回はスポーツ推進委員が取り組んでいるボッチャ競技を青少年委員の皆さんと体験いたしました。次回もまた交流会をしながらお互いの活動を理解し前進したいと思います。

文責

スポーツ推進委員

金杉 静江

銭湯で昔あそびの会



令和7年10月5日(日)、第二寿湯にて「銭湯で昔あそびの会」が開催されました。10月にしては、強い日差しの中でしたが、屋外ではコマ回しと輪投げ、屋内では紙芝居、ストロー風車、塗り絵、割りばしゴムてっぽうと様々な遊びのコーナーにて子どもたちの楽しむ姿が見られました。ストロー風車のコーナーでは、作業に手間取る場面もありましたが、完成してクルクル回る風車を見て「ありがとう」と嬉しそうに言ってくれました。今年度で3回目を迎え、スムーズに進行し、大盛況のうちに昔あそびの会を終えることができました。

文責

小岩地区部会

八月朔日 由紀美

第19回共南祭



とともに歩み続けていくことを願っています。

文責

小岩地区部会

上島 幹子



令和7年7月20日(日)、共育プラザ南小岩で「第19回共南祭」が開催されました。共南祭は中学生、乳幼児、保護者、ボランティア、地域サポーターが集い、『地域で育つ・地域で育てる共育・協働』を推進することを目的としたイベントで、中学生が考案した「Let's make history together 新しい未来へ」というテーマで盛大に行われました。

実行委員会では中学生を中心に子育て部門、中高生部門、健全育成部門の3つの部門に分かれて活動しました。青少年委員は小岩地区部会と鹿骨地区部会合同で健全育成部門のクラフトコーナーでストロー風車づくりを担当し、子どもも大人も真剣に取り組む姿が見られました。完成した風車を吹くと回る様子が「わあ、すごい！」と歓声が上がりました。館内は様々なコーナーがあり、遊ぶ・作る・食べる・観る・体験する楽しさであふれていました。共南祭は地域に根付いたイベントとして、多くの交流が生まれています。以前、実行委員として参加した中学生が、地域サポーターや職員として活躍する姿を見て、胸が熱くなりました。そんな素敵な共南祭が地域とともに歩み続けていくことを願っています。

地域や小学校で開催されたおまつりに協力しました

青少年委員は、地域や小学校のおまつりで工作やレクリエーション等の協力を行っています。子どもたちの笑顔とふれあいを大切に、地域の皆さまとともに楽しい時間をつくっています。

参加協力のご依頼は、お近くの青少年委員までお気軽にご相談ください。直近の活動実績(2025年7月以降)

開催日	開催場所	主催者	協力内容	担当地区部会
7/12(土)	松江小学校	松江小学校 PTA ふるさとまつり	バルーンアート・ お花の万華鏡	中央地区部会
8/22(金)	第二葛西小学校	すくすく縁日	簡単牛乳パックゴマ	葛西南地区部会
8/23(土)	第七葛西小学校	おもしろ発見探偵団	ブラバン	葛西南地区部会
9/6(土)	小岩小学校	小岩小学校すくすく まつり	バタバタ工作	小岩地区部会
9/14(日)	小松川四丁目	小松川四丁目親交会 まつり	お花の万華鏡	小松川地区部会
9/27(土)	新堀小学校	新堀まつり	防災クイズコーナー	鹿骨地区部会
10/4(土)	平井東小学校	東っ子まつり	ピンポンカップインゲーム	小松川地区部会
10/11(土)	小松川第二小学校	にこにこまつり	ピンポンカップインゲーム	小松川地区部会
10/11(土)	南葛西第三小学校	おもしろ発見探偵団	ブラバン・くるくるレインボー	葛西南地区部会
10/19(日)	江戸川区立みんなの家	みんなの家まつり	グリーンティングカード	鹿骨地区部会
11/1(土)	第二葛西小学校	二葛西まつり	バタバタチョウ	葛西北地区部会 葛西南地区部会



「学びのかるがもひろば」開催 中学生の地域参加研究グループ



私たちは、中学生の地域参加をテーマに活動する研究グループです。青少年委員と中学生実行委員が協力し、イベント「学びのかるがもひろば」を令和7年9月28日（日）に開催しました。この活動の目標は、「地域参加意識の育成」「責任感、協調性、主体性の向上」「異世代交流による視野拡大」です。



会場全景



宣伝告知においては、中学生実行委員の有志により3種類のポスターを制作し、合計600枚を近隣の小学校、町会、共育プラザへ配布しました。

メインステージでは3つのプログラムを提供しました。「栄養素クイズ」では事前に用意した問題を出題し栄養素に関する知識をレクチャーしました。次に「演劇」では健康の三要素の食事・睡眠・運動について実生活を題材とした劇を上演しました。終了時には劇中の健康に関する問題を会場のお客さまへ質問し知識の定着を図りました。最後に「わらいヨガ」では青少年委員の中川委員が笑うことの効果について講演しました。笑いの効果については、うそ笑いでもよいとされており、皆さんとともにリズムに合わせて、笑いの体験を行いました。



文責
中央地区部会
三浦 圭司

葛西海浜公園、Eボート操船(防災)体験と生き物調査



令和7年10月5日（日）に、ラムサール条約湿地である葛西海浜公園を活用した親子参加型イベントを実施しました。

Eボート（水難救助用カヌー）操船体験では、初対面の子ども同士が力を合わせてボートを組み立て、海からの景色を楽しみながら、海の危険や水害から命を守る知恵と勇気を学びます。また、生き物調査では、千潟での生き物採取を楽しんだ後、子どもも来館や水族園の職員による生き物の解説を受けます。これにより、子どもたちは生物多様性や、さまざまな生き物が食物連鎖を通じて互いに共生し、調和していることを学びます。

文責

葛西西南地区部会

高原 賢一

第50回葛西まつり ステージ運営レポート



キーワードクイズ



演劇



わらいヨガ

令和7年10月19日（日）、葛西地区民館およびその周辺にて盛大に開催された「第50回葛西まつり」では、緑・水・風の3つのステージが設けられ、青少年委員も運営に深く関わりました。

このステージ運営は、葛西西北地区部会と葛西西南地区部会が主体となり、事前に3回の会議を重ねて入念に準備を行いました。当日は、36団体によるダンスや演奏などの多彩なパフォーマンスが披露され、会場は終始にぎやかな雰囲気になりました。出演者の熱気と観客の声援が一体となり、まつりの節目となる第50回にふさわしい盛り上がりを見せました。

また、青少年委員は毎年恒例の人気企画、「キーワードクイズ」を担当しました。ステージの合間に行われたこのクイズは、子どもから大人まで多くの来場者が参加し、会場をさらに盛り上げる役割を果たしました。

地域の一員としてお祭りを支えることができ、心から嬉しく思います。

文責

葛西西南地区部会

三木 佳代